

## 2023.6.15 ステップアップスクール当仁研修会の報告

令和5年6月15日（木）19時分から令和5年年度当仁中学校（ステップアップスクール当仁）の「親の会」教育講演会を下記の通り実施しました。講師は、福岡こども短期大学 教授で、福岡市内の中学校でも長くスクールカウンセラーとして活躍されている武部愛子先生でした。前半は、スクールカウンセラーの視点からの子育てへのアドバイスや、今の子どもたちのとらえ方、発達障がいに向き合うかなど、講話をいただき、後半は先生に具体的な質疑応答で研修を深めることができました。

武部先生は福岡市の教育委員であるとともにその豊富な経験と分かりやすい解説で大変人気のある方です。福岡市のみならず各地での講演は「保護者の会」「人権講演」「民生委員や主任児童員研修」などで、子育てから発達障がいの理解など幅広いお話が聞けたと思っています。変化の激しい時代、従来の子どもに対する見方や接し方だけでは理解できないことが増えてきています。一人で悩まずみんなで考えていければと思っています。当日は保護者のみならず教職員・SC・SSW・主任児童委員・地域・PTA 関係など35名の参加者があり研修を深めることができました。



### 講演概要

- ・先生と保護者では子どもの見え方が違う。お互いの味方に敬意を払って考える。
  - ・s cから見て保護者は子どもを200%大切にしてほしい。100%で受け入れて子どもには200%全身全霊で信じる。指導しようとか助言をしようと思わない。社会に近い学校からいろいろ言われることを親が言ってしまうと子どもから見れば一緒にみえる。
  - ・保護者は子ども側と一緒に悩む。集団と個を分けて考える。子どもが順調に行くまでは日にちがかかる。
  - ・否定されず、頑張ったねと言ってもらうことで次に続く。集団適応が苦手でも、経験値を積むことが大切。受け止めることで、見通しが苦手な子どもも一歩が踏み出せて大人になっていく。経験値を積むためにも「何があってもOK」と言ってもらえる家庭が必要。
  - ・診断名がつくかどうかは「幼児期」以外（スペクトラムを持っているがその差は大きい）ほとんどは二次障がいになる人は医療の分野。それ以外は福祉と教育分野の手助けの分野。みんなが医療の対象になるわけではない。
- 「振り子」いい時とそうでないときの差は大きい。経験でその振り幅は小さくなる。まじ

めでコツコツと何も問題のない人が突然というときは振り幅が大きい。何度も繰り返して成長していくので思い込まない。

- ・この子だからこうですとは決まらない。
- ・兄弟でも出方は違うが変わっていることは同じ。遺伝といえば遺伝、環境といえば環境。でも、そうじゃない人もいるのでわかってあげられるところは分かってほしい。
- ・「植物モデル」球根の中にあるもので決まっている。赤い花は赤い。子どもを見て必要なものを与え、補っていく。起きたことは過去、それから何を学ぶかを考える。学ぶことが大切で、積むしかない。引き算はない。子どもを見て判断する。「うれしいかどうか」を見る。うれしい・楽しいで子どもは成長する。
- ・先生と保護者は大人同士として情報交換をする。学校が家庭のようになって困る。わかってもらえないことも飲み込む。
- ・毎日楽しいことを持って元気で夜を迎えてほしい。
- ・良くいかないにかかわらず元気で楽しいかが大切。「楽」と「元気」はちがう。
- ・育つ子どもは楽しく生きることが大切。

#### 質問

◎子どものことで学校に原因を探してぶつけてしまう。

- ・子どもの思うつぼの声掛けをしない。変わっている言葉を探す。
- ・腹が立つこと：親が絡むとぶつけることが多い。
- ・何か今しようとは思わない。調子のいい時に話す。
- ・違うことをやってみる。話題作り。予想外のことを言う必要性。
- ・そのうち何とかなると分かっていると成長する。

◎一日中布団の中でスマホを見ている

・起きているなら座って生活するには何が必要か。ゲームで生活に支障をきたしているかで判断。ゲームをすることで一日が片付くか。暇だし決して充実していない。自分で止めないと意味がないので取り上げてもダメ。取り上げると敵になる。ゲーム（依存）外来ができた。ゲームをしても会話をしてほしい。本人は人との付き合いは苦手でも刺激が欲しい。興味を引く会話で向き合えるようになればいろいろなことが通るようになる。本来は同年代の会話が刺激としては一番いい。自分のレベルに合わない刺激に落ち込んでゲームから離れなくなる。

◎見守って好きにさせている。何でもやりたいことをさせていていいのか。

・一見ゆったりが楽とは限らない。その時が来なければ苦手なものは避けて通る。おやの気分である時は許されある時は怒られる。これは心理的虐待。突然怒られると不安定になる。ゆっくりと受け止める。基本は怒らなくてよい。

◎子どもが「楽しいことしないで死ぬのは辛いと言う」

◎両親の考えが異なる。意見が一致しない。父親の役割は。

◎子どもの将来が悩み。感情の揺れ幅が多きい など。

当仁中以外の参加を希望される方は各保護者の会の代表を通して「内田さん」に連絡してください。  
直接、当仁中に連絡をしないでください。

保護者様

令和5年 5月12日

福岡市立 当仁中学校  
校長 井上 亜樹  
ステップスクール当仁親の会  
代表 合庭 さつき  
ステップアップスクール  
代表 内田 富美子  
福岡市立 当仁中学校  
担当 南田 永子

## 「親の会」教育講演会のご案内

初夏の候、保護者の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

このたび、下記のように教育講演会を計画いたしました。講師は、福岡こども短期大学教授で、福岡市内の中学校で長くスクールカウンセラーとして活躍されている武部愛子先生です。スクールカウンセラーの視点からの子育てへのアドバイスや、今の子どもたちのとらえ方、発達障がいはどう向き合うかなど、お話していただくと共に、ひざを交えて日頃の悩みを出し合いながら助言をいただき、お互いに学習していこうと考えております。

なお、参加ご希望の方は、**6月8日(木)までに**下記の申込用紙を担当か、南田に提出(サポートルーム携帯 070-3204-4139)、又はこの用紙をそのまま当仁中(Fax092-761-7832)へFAXして下さい。よろしくお願い致します。

### 記

- |      |  |                            |
|------|--|----------------------------|
| 1 日時 | 令和5年 6月15日(木)  | 18:30~受付<br>19:00~20:30講演会 |
| 2 場所 | 福岡市立 当仁中学校 図書室<br>〒810-0066 福岡市中央区福浜2丁目7番1号<br>Tel 092-761-7831 Fax 092-761-7832 |                            |
| 3 講師 | 福岡こども短期大学 教授 武部 愛子 先生  |                            |
| 4 内容 | ・スクールカウンセラーから見た子育て<br>・発達障がいのとらえ方 など   |                            |

切り取り線

〆切 6月8日

### ステップスクール当仁「親の会」教育講演会 参加申込用紙

(Faxは 当仁中 092-761-7832 へ)

・6月15日(木)の教育講演会に参加します

参加者氏名

続柄

( )

(お子さまの学年と氏名もお書き下さい。)

( )年

氏名